

さとうきびの害虫  
ケブカアカチャコガネに

# ケブカコシ<sup>®</sup>

ダイシルア剤

[有効成分の種類及び含有量 ((RS)-2-ブタノール97.1%)]

国内初の  
コガネムシ用  
交信かく乱剤!!

＼ 取り付け簡単!! /



# 交信かく乱用 フェロモン剤 **ケブカコン**<sup>®</sup> **ダイシルア剤**

## さとうきびの害虫ケブカアカチャコガネに

### 特長

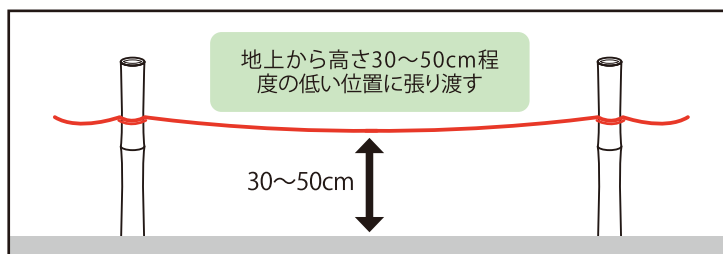
- ・人畜および魚介類に対する安全性が高く、環境に悪影響を与えません。
- ・作物に対する薬害および残留性がありません。
- ・効果の持続期間は、ケブカアカチャコガネの成虫発生期間より長く、防除適期を外しません。

### ◎適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用場所	使用目的	適用害虫名	使用量	使用時期	使用方法
さとうきび	さとうきび 栽培地域	交尾阻害	ケブカアカチャ コガネ	625m/10a (100g/ 100m製剤)	成虫発生 初期から終期	支柱等を用い地上から50cm 以下の位置にロープ状の 製剤を張り渡し設置する
				62.5~ 125m/10a (125g/25m製剤)		支柱等を用い地上から50cm 以下の位置にロープ状の製剤 を畝と直交に張り渡し設置する

### ◎設置方法

支柱等を用いて高さ30~50cm程度の低い位置にロープ状の製剤を張り渡し設置してください。



### ◎使用上の注意事項

- 1) 本剤は、ケブカアカチャコガネ成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としているので、対象害虫の成虫発生初期から終期まで比較的広範囲な地帯で使用することが望ましい。
- 2) 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することが望ましい。
- 3) 対象害虫は地中に生息し交尾時に地表に出てくるため、本剤は支柱等を用いて高さ30~50cm程度の低い位置にロープ状の製剤を張り渡し設置すること。
- 4) 標準的な使用量は10a当り625m(100g/100m製剤)及び62.5~125m(125g/25m製剤)であるが、立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合があるので、諸条件から判断して、必要な場合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに設置することが望ましい。
- 5) 急傾斜地、風の強い地帯等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないこと。
- 6) 設置の際、面積に応じてエチレン酢酸ビニル樹脂チューブを切断する場合は、必ず20cm又は1m間隔でヒートシールされている部分を切断すること。
- 7) 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散するので、必ず使用直前に開封し、なるべく使い切ること。やむをえず残った場合には密封し、5℃以下で冷蔵保管すること。
- 8) 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外に使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋は圃場等に放置せず適切に処理してください。

この印刷物は2019年3月現在の登録内容に基づき作成しました。

製造・発売元

**ShinEtsu** 信越化学工業株式会社